

平成 3年 2月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 TEL0428-23-6859)

年中行事の今、昔の対照

農耕社会で長い間継承されてきた年中行事は、今や消滅寸前の状態です。結婚や葬式などの人生儀礼が世代交替時に消滅しやすいのとは異なり、年中行事は世帯主の生業が変化したときに起こりやすいもので、世代が変わることを要しません。それだけに消滅が一層急激であるといえます。以下、青梅市内の二家族からその実態を探ってみましょう。

◎ むかし（市内岩蔵の〇家の例）

- 1月 大正月（初詣・年始・七草がゆ・蔵開き）
小正月（まゆ玉・アボ、ヒボ・柿の木・小豆がゆ・やぶ入り）
塩船のお祭り・恵比寿講
- 2月 節分・初午
- 3月 ひな祭り・御岳神社のお祭り・春の彼岸・春の大掃除・オシラ講
- 4月 花祭り・天長節
- 5月 節句
- 7月 七夕・お盆（迎え火・墓参・送り火）・お精進
- 9月 ^{はつ}初九日・中の九日・終わり九日・彼岸・十五夜（へそぬき）
- 10月 恵比寿講・十三夜・イノコノボタモチ
- 11月 オビトキ（七五三）
- 12月 冬至・ゆず湯・スストリ・シメカザリ作り・モチつき

◎ いま（市内勝沼のH家の例）

- 1月 大正月（年始・仕事始め・七草・蔵開き・だるま市）
小正月（小豆がゆ・寺年始）
- 2月 節分
- 3月 節句・彼岸
- 4月 おしゃかさま
- 5月 青梅大祭・節句
- 7月 七夕・お盆（迎え火・送り火・墓参）
- 9月 彼岸
- 12月 冬至・大掃除・おかざり作り

農耕儀式における子祝的なもの（まゆ玉・アボ・ヒボ・オシラ講など）や収穫儀礼（十五夜・恵比寿講など）が消滅し、祭礼、人生儀礼（節句・彼岸・お盆など）が残るようすがわかります。

（文責 川鍋幸三郎）